

複式学級における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の充実

～学び合い、考えを深める子どもの育成を目指して～
長沼町立南長沼小学校 学級数 4 (校長 北野 和幸)

I 実践テーマの趣旨

本校では、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学習過程や学習形態を工夫した「南小授業スタイル」の構築、定着に取り組み、複式学級における指導の充実を図ってきた。

II 実践の概要

1 複式学級における学習過程及び学習形態の工夫

「ペア学習」及び「グループ学習」を「たしかめる」と「ふかめる」の学習過程に位置付けるとともに、全学年の終末に「ふり返り」の活動を取り入れている。

(1) 算数科の学習過程「南小授業スタイル」の工夫

過程	＜下学年＞		過程
	児童の活動 (学習形態)	様子	
つかむ・知る	課題提示 ・問題・課題を知る (一斉) 課題解決 ・方法や意味を理解する。(一斉) ・課題に応じたまとめを書く。	前時の確認 (一斉) 理解確認 ・確認問題に取り組む (ペア) 理解深化 ・深化問題に取り組む (個人)	「たしかめる」過程 「つかむ・知る」で学んだ内容の定着の状況を確認する学習過程
たしかめる・ふかめる	理解確認 ・確認問題に取り組む (ペア) 理解深化 ・深化問題に取り組む (個人) ・自分の考えを説明し、友達の考えも理解する。(ペアまたはグループ)	前時の確認 (一斉) 課題提示 ・問題・課題を知る (一斉) 課題解決 ・方法や意味を理解する。(一斉) ・課題に応じたまとめを書く。	「ふかめる」過程 「たしかめる」で身に付けたことを用いて活用問題に挑戦する学習過程
ふり返る	自己評価 ・学習をふり返り、自己評価する。(場合によっては共有する。)	自己評価 ・学習をふり返り、自己評価する。(場合によっては共有する。)	「ふり返る」過程 学習内容を整理し、まとめることで一層の定着を図る学習過程で毎時間行う。 「ふり返り」の内容 ①わかったこと ②わからなかったこと ③次の学習に向けてがんばりたいことや理解を深めたいこと ④友達のよかった考えや意見を聞いて考えが変わったことや深まったこと

【授業改善の視点】


- ・粘り強く取り組む
- ・互いの考えを比較する
- ・粘り強く取り組む
- ・協働して課題解決する
- ・自分の思いや考えと結び付ける

【南小授業スタイルの学習過程】

【各学習過程の工夫】


(2) 各過程に位置付けた学習形態の工夫

「たしかめる」過程




＜自力解決＞

「ふかめる」過程




＜グループ学習＞

「たしかめる」過程



＜ペア学習＞

「ふかめる」過程



＜発表＞

ペア学習の工夫
「つかむ・知る」で用語等を用いた解決方法等を全員で確認し、一対等にまとめさせることで、間接指導時の学習を成立させている。

グループ学習の工夫
司会、記録、発表、計時の役割を分担し、間接指導時の主体的な学習を成立させている。

【学習形態の工夫】

- ・考えの比較
- ・考えの形成
- ・協働して課題解決
- ・自分の思いや考えと結び付ける

【授業改善の視点】

III 実践の成果と課題

- 学習過程や学習形態を工夫した「南小授業スタイル」を定着させることで、間接指導時に児童が主体的に学ぶ姿が見られるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を展開することができた。
- 学び合い、考えを深める子どもの育成に向け、指導者は、「ふり返り」の活動で児童に言語化させた内容を見通した授業づくりを行うなど、学習を通して育成する資質・能力を明確にする必要がある。